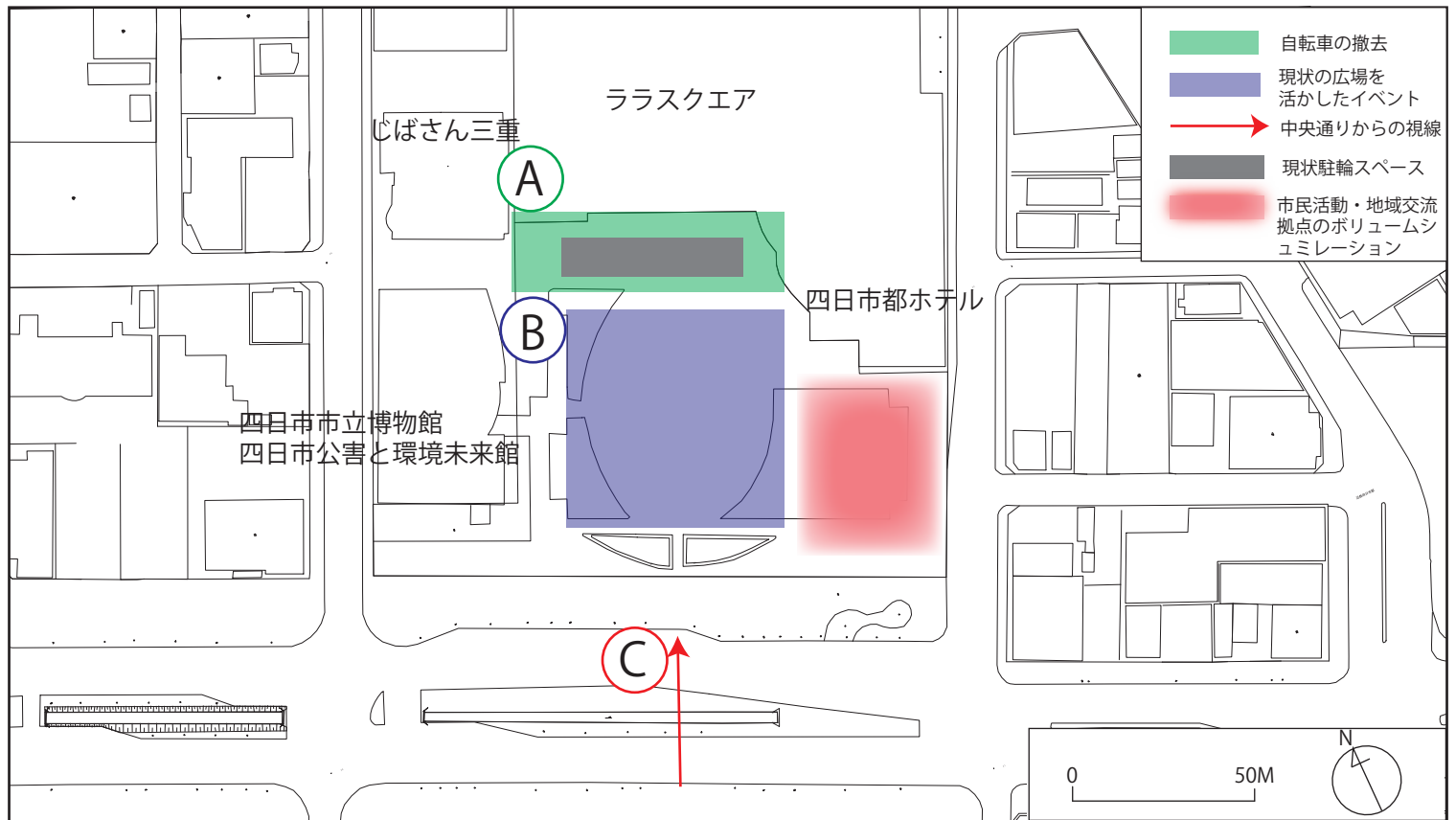


## 8. 各都市公園と公有地の魅力化の考え方と 市民活動・地域交流拠点の計画のイメージ

- ・四日市市民公園
- ・鶉の森公園
- ・諏訪公園
- ・庁舎東側芝生広場

# 四日市市民公園

公園全体の魅力化の考え方：若年層も集う商業・娯楽の中心広場へ



**A** **自転車の撤去**  
 入り口景観改善のため自転車置き場自体の移動、もしくは仮設でない駐輪場を整備する。

**B** **現状の広場を活かしたイベント**  
 ララスクエア前での映画の上映、ヨガ、結婚式など、現在の空間を活かしたイベントを行う。

**C** **視界を通し開放的な景観へ**  
 歩道の灌木の数及び配置を検討し、より開放的な景観を形成する。

**入り口に植栽等を設ける**  
 日差しが強くカーテンが閉じられている。店内の活気が外にも伝わるようにする。

**広場を空間的に活かす**  
 パラソルを常設する、すり鉢状の階段を設置する等、空間的魅力のある広場にする。

## 市民活動・地域交流拠点の計画に際したボリュームシミュレーション



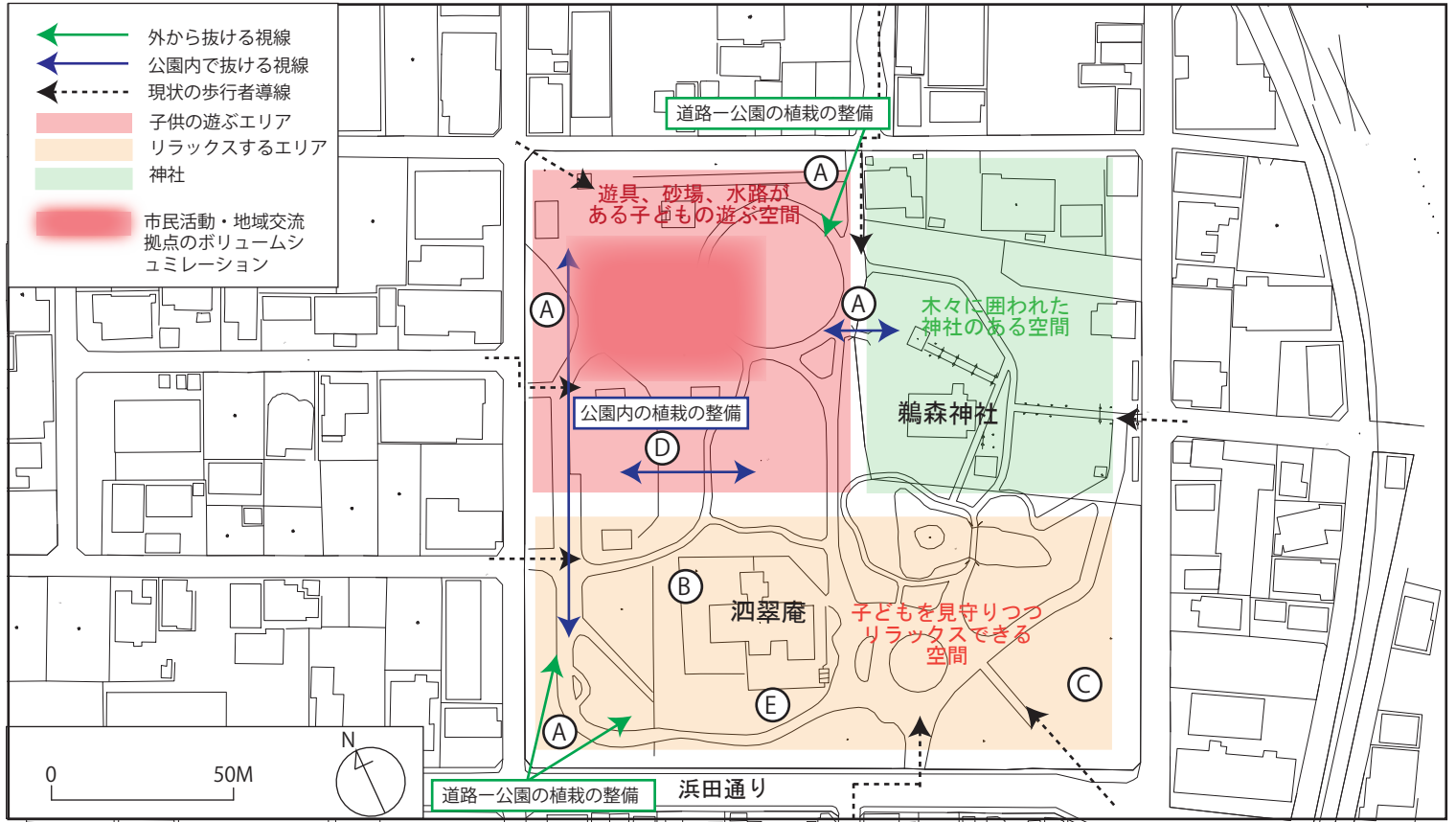
建築ボリューム			
・建築面積	2,000㎡	・階数	5階
・延べ床面積	10,000㎡		
属性			
・用途地域	商業地域		
・敷地面積	8,968㎡		
・建蔽率	80%(建築面積上限7,174㎡)		
・容積率	600%(延べ床面積上限44,840㎡)		
・既存建築面積	0㎡	・建築面積合計	2,000㎡
・既存延べ床面積	0㎡	・延べ床面積合計	10,000㎡



平成3年の四日市市民公園（写真：四日市市立博物館蔵）

# 鶺鴒の森公園

## 公園全体の魅力化の考え方：豊かな自然に囲まれたまちの交流拠点へ



**A 視線の抜ける植栽整備**  
 植栽を一部剪定し、通りから公園内の様子がわかるようにすることで、安全性を高める。

**B 酒翠庵周辺の整備**  
 公園と茶室を隔てる高い囲いを低く、または視界が抜けるようにすることで一体感をつくりだす。

**C 駐輪所の整備**  
 自転車で訪れる住民が多いため、駐輪所を設置し、公園内の景観を良くする。

**D 自然を活用した遊び場**  
 水路に水を流し、樹木をトンネルのような配置にすることで、自然の中で楽しく遊べる空間をつくる。

**E 身近に触れ合える歴史**  
 城址としての歴史を伝えるため、石碑を解説する案内板を設置したり、歴史解説イベントなどを行う。

**ゾーニング**  
 遊具を砂場のある広場へ移動し、北は子どもが遊ぶエリア、南は親が子どもを見守りつつ一息つけるエリアとして整備し、まとまりのある構成にする。

## 市民活動・地域交流拠点の計画に際したボリュームシミュレーション



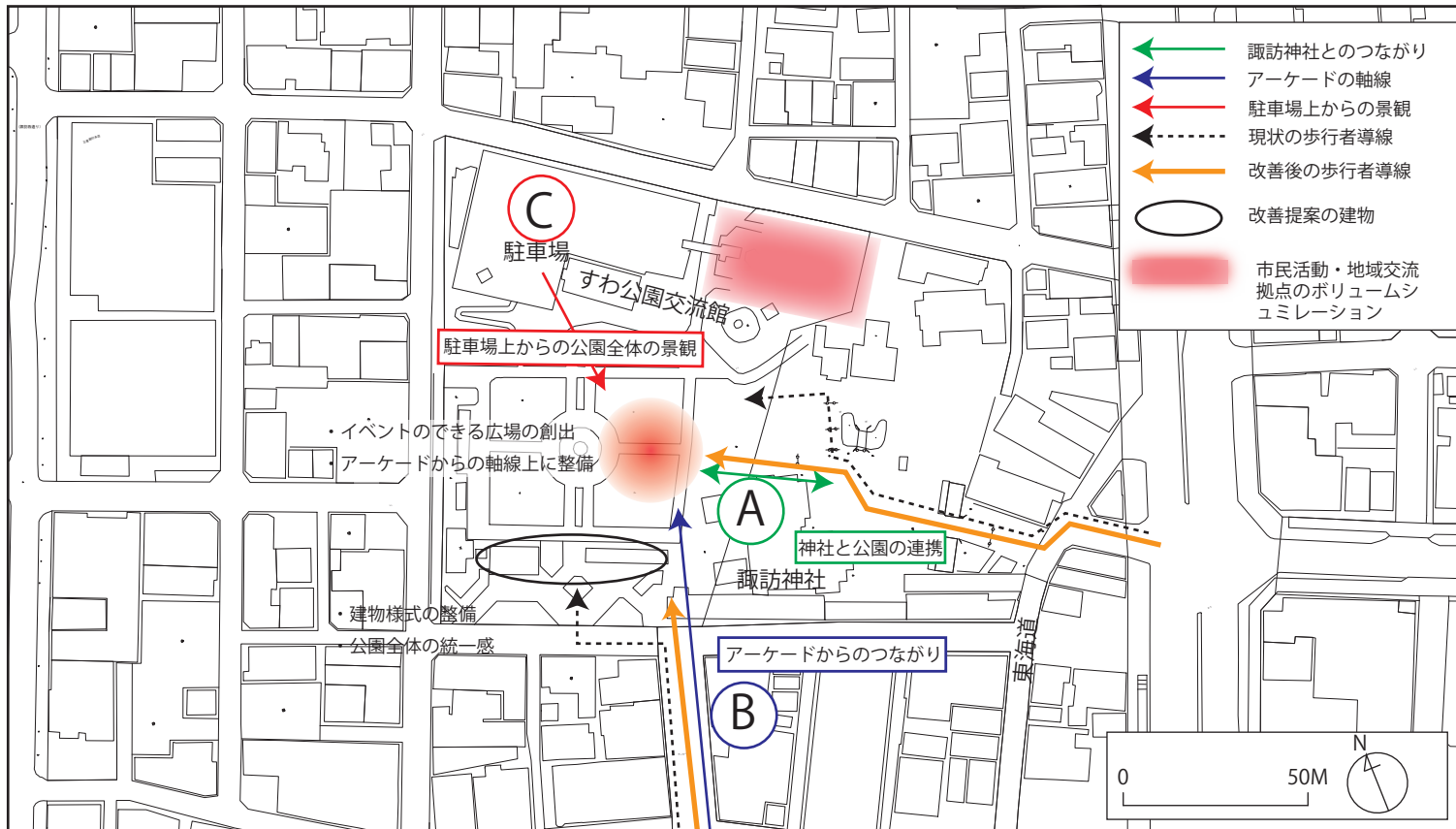
<b>建築ボリューム</b>			
・建築面積	2,200㎡	・階数	5階
・延べ床面積	11,000㎡		
<b>属性</b>			
・用途地域	近隣商業地域		
・敷地面積	21,678㎡		
・建蔽率	80%(建築面積上限17,342㎡)		
・容積率	300%(延べ床面積上限65,034㎡)		
・既存建築面積	623㎡	・建築面積合計	2,823㎡
・既存延べ床面積	623㎡	・延べ床面積合計	11,623㎡



昭和10年代の鶴の森公園 (写真:四日市市立博物館蔵)

# 諏訪公園

公園全体の魅力化の考え方：商店街地区と連続した地域の日常の集いの場へ



**A 諏訪神社とのつながり**  
 神社と公園の間の植栽を木のトンネルのように整備し、公園と神社を行き来しやすくする。

**B アーケードの軸線**  
 アーケードの軸線を公園内に取り入れることでアーケードから公園内の様子がわかりやすくなる。

**C 駐車場の整備**  
 駐車場の広場から公園を見渡せるように植栽の高さや配置を整備しにぎわいがわかるようにする。

**公園内の建物改善**  
 隣の神社と調和するように建物の様式を改善することで、公園全体に統一感が生まれる。

**イベントスペースの活用**  
 多様な市民活動の場として広場周辺の設えや空間の修景を行う。

**子どもの遊び場**  
 公園全体に子どもの遊ぶ場所を設け、遊具だけでなく子どもがのびのび遊べるようにする。(広場など)

## 市民活動・地域交流拠点に際したボリュームシミュレーション



建築ボリューム			
・建築面積	900㎡	・階数	5階
・延べ床面積	4,500㎡		
属性			
・用途地域	商業地域		
・敷地面積	11,011㎡		
・建蔽率	80%(建築面積上限8,809㎡)		
・容積率	400%(延べ床面積上限44,044㎡)		
・既存建築面積	2,287㎡	・建築面積合計	3,189㎡
・既存延べ床面積	2,729㎡	・延べ床面積合計	7,229㎡



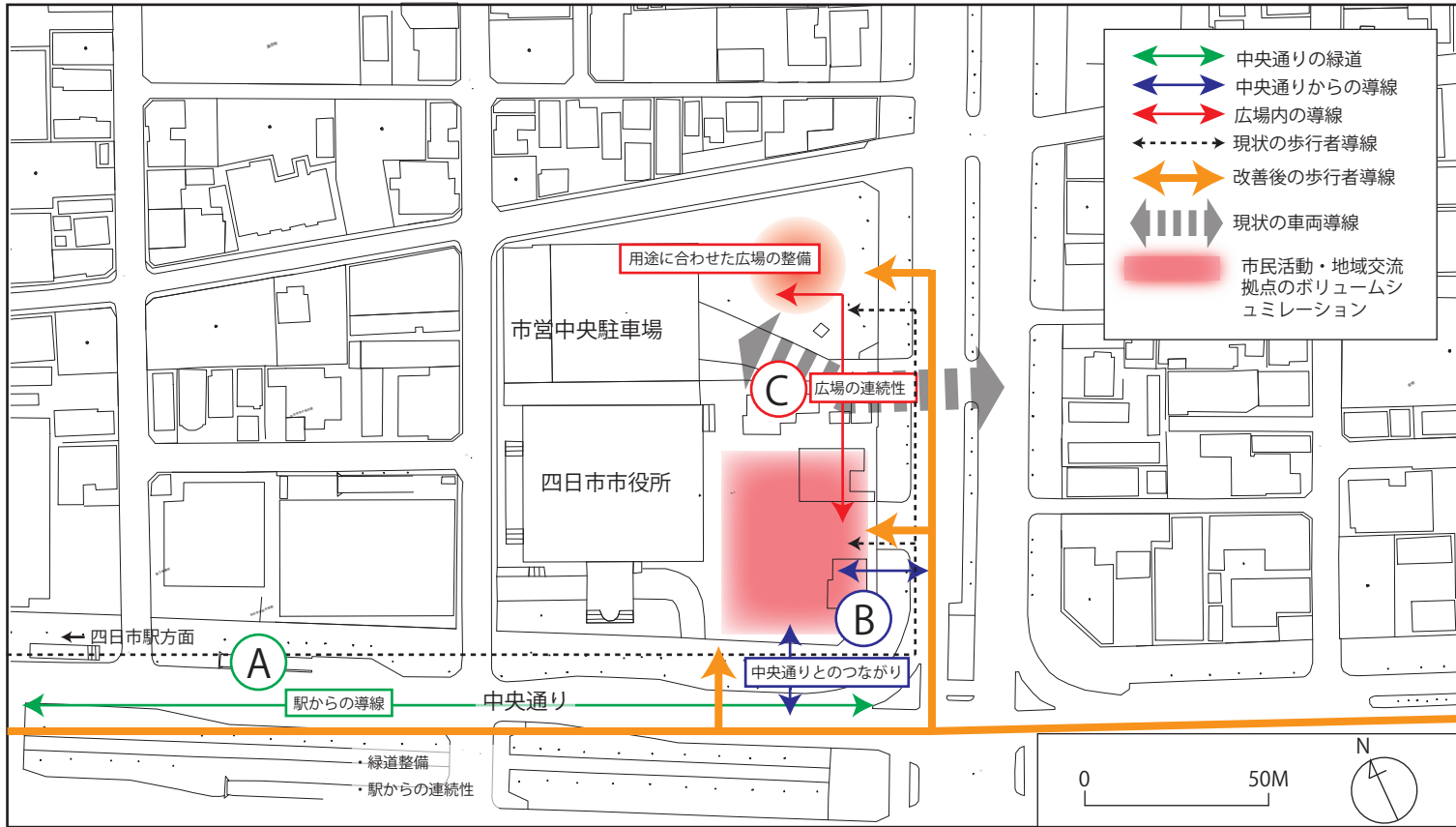
昭和35年頃の諏訪公園（写真：四日市市立博物館蔵）



昭和35年頃の諏訪公園（写真：四日市市立博物館蔵）

# 庁舎東側芝生広場

公園全体の魅力化の考え方：中央通りからの繋がりを意識した市民の憩いの場へ



**A 中央通りの緑道整備**  
 緑道を整備し、快適に歩行できる空間とする。大通りを活かし、ランニングのコースとして活用する。

**駅からの連続性を向上**  
 駅からの芝生広場までの電灯の装飾などを揃えることで、街の連続性を生み出す。

**B 駐輪場・倉庫の移動**  
 駐輪場・倉庫を移動することで、中央通りからのアクセスや景観を向上させる。

**大通りを活用した施設機能**  
 歩道の広さを活かした露店やカフェ及び既存の機能を活かしたレンタサイクルの拠点を提案。

**C 広場の整備**  
 子どもが遊べるような丘や、市民がゆっくり留まれるような対面型のベンチを設置する。

**市営駐車場入り口の整備**  
 横断歩道や陸橋の設置、駐車場入り口の移動によって安全に歩行者が通れるようにする。

## 市民活動・地域交流拠点の計画に際したボリュームシミュレーション



<b>建築ボリューム</b>			
・建築面積	2,200㎡	・階数	5階
・延べ床面積	11,000㎡		
<b>属性</b>			
・用途地域	商業地域		
・敷地面積	12,208㎡		
・建蔽率	80%(建築面積上限 9,766㎡)		
・容積率	500%(延べ床面積上限 48,832㎡)		
・既存建築面積	4,518㎡	・建築面積合計	8,718㎡
・既存延べ床面積	35,592㎡	・延べ床面積合計	46,592㎡



昭和35年頃の市役所周辺の様子



昭和40年頃の都市計画図

